

# 2024年度 IWIP 国際溶接検査技術者 特認コース募集要項

## 1. 応募方法（申請に必要な書類の準備/提出）

応募者は以下の＜応募申請書類＞を JWES-HP よりダウンロードして準備し、J-ANB 事務局へ上記期間内に提出してください。なお、応募者が少なく、試験実施が困難な場合は、次来年度以降に延期される可能性があることを予めご承知おきください。

★受験応募受付期間：2024年4月1日～6月30日(特別延長中)

＜お問い合わせ先＞

(一社)日本溶接協会 事業部 J-ANB 事務局 (立花) E-mail : [tomoyuki\\_tachibana@jwes.or.jp](mailto:tomoyuki_tachibana@jwes.or.jp)

TEL : 03-5823-6325 FAX : 03-5823-5211

非破壊検査資格については、JSNDI(日本非破壊検査協会) <https://www.jsndi.jp/qualification/> ^

＜応募申請書類＞ 応募者は以下の①,②,③の書類を記入し④の資格の写しと併せ、ご提出下さい。

- ①「受験申請書」
- ② 表1の学歴を満たす「学歴記入表」「卒業証書(学位記)の写し」又は「卒業証明書」
- ③ 表1の職務経歴を満たす「職務経歴証明書」
- ④ 表1の資格を満たす溶接資格のデンプル又は適格性証明書及び非破壊検査資格(JSNDI)の写し

表-1. 資格の種類に対応する受験条件(学歴、職務経歴、必須保有資格)

受験資格レベル	受験条件			
	学歴	職務経歴	溶接資格	非破壊検査資格(JSNDI)
IWI-C	工科系大学及び工科系短大(修業2年以上)、又は工業専門学校(修業2年以上)の卒業生。	直近4年間で、IWI-C 相当の業務経歴が3年以上あること。	IWT or IWE or WES 特別級	最少(限)レベル2 又はレベル3 の2資格(但し1資格はレベル3かつ1資格は体積検査、1資格は表面検査)
IWI-S	工科系高等学校、又は工業系高等学校、又は職業訓練高校、又は溶接工科学校(修業3年以上)の卒業生で、年齢は20歳以上の者、	直近3年間で、IWI-S 相当の業務経歴が2年以上あること。	IWS or IWT or IWE or WES1 級以上	最少(限)レベル2 の2資格(但し1資格は体積検査、1資格は表面検査)
IWI-B	又は上記以外高等学校の卒業生で、年齢は20歳以上、溶接の実務経歴5年以上を有する者。	直近2年間で、IWI-B 相当の業務経歴があること。	IWP or IWS or IWT or IWE or WES2 級以上	最少(限)レベル1 の2資格(但し1資格は体積検査、1資格は表面検査)

## 2. 必須受講コースの受講 2024年7月5(金),6(土),11(木),12(金),13(土),18(木),19(金),20(土),26(金),27日(土) 場所：日本溶接技術センター(川崎市)

全ての応募者(受験者)は、上記受験条件を満たした後、本特認コースに必要なI/W履修ポイントを取得する必要があります。このため、以下のコースを受講する必要があります。

(1)外観検査(VT)コース (2)未取得のNDI資格のコース(\*) (3)理論・実技試験対応コース

(\*)受講コースの例：対応するRT及びPTの資格を保有の場合、UT及びMTのコースの受講が必要です。

## 3. J-ANBによる書類審査

受験者から提出された関係書類の妥当性、客観性などについて審査し、審査通過者にはプロフェッショナルインタビューの詳細日時・場所を案内します。

## 4. プロフェッショナルインタビュー(PI) 2024年9月14日(土)場所：日本溶接協会

受験者の溶接技術の知識の修得レベルについて審査し、審査通過者にはプロジェクトワークの課題と日程(9月下旬から)を案内します。

## 5. プロジェクトワーク (Project Work : PW)

知識の応用力、問題解決能力を調べるため、指定されたテーマに対して各自が予習し、数名のチーム編成によるケーススタディを行います。予習報告書、最終報告書及びケーススタディでの発表の内容が審査・評価されます。なお、テーマは受験者の経験・現職務内容と一致するとは限りません。

① 予習報告書の作成：予習期間は2024年9月下旬～10月中旬の間の約4週間

J-ANB より配布されたプロジェクトワーク案内に基づいて予習を行い、その結果を予習報告書としてケーススタディの前に J-ANB へ提出します。

② ケーススタディ (集合研修形式) 日程: 2024年10月24日(木), 25日(金), 26日(土)

場所: 大阪大学接合科学研究所(茨木市)

3日目の後半に簡単な報告書の作成と発表を行います。

③ 最終報告書

ケーススタディ終了後、2週間以内に最終報告書を J-ANB 事務局へ提出する必要があります。

## 6. 最終試験

最終試験は、理論試験と実技試験を行います。

① 理論試験 (溶接技術(WT)モジュール及び溶接検査(WI)モジュールで構成される)

・日程: 2024年11月22日(金)午後及び23日(土) ・場所: 日本溶接協会

・試験時間: WT/WI-C: 2.5時間, WT/WI-S: 2.5時間, WT/WI-B: 3.5時間,

注) WI-C の受験者は上記の3試験(WT&WI-C/S/B)を、WI-S の受験者は上記の2試験(WT&WI-S/B)を、WI-B の受験者は上記の1試験(WT&WI-B)を受験する必要があります。

② 実技試験 (パート A、B 及び C で構成される)

・日程: 2024年12月14日(土) ・場所: 日本溶接協会又は日本溶接技術センター

・試験時間: PE-S: 4時間, PE-B: 2.7時間,

注) WI-C 及び WI-S の受験者は上記の1試験(PE-S)を、WI-B の受験者は上記の1試験(PE-B)を受験する必要があります。

## 7. 合否通知, 登録及び履修証明書 (ディプロマ) 発行

・合否通知: 2024年12月末

・登録期間: 2025年1月中旬迄

・履修証明書 (ディプロマ) 発行予定: 2025年2月上旬以降

## 8. 受験料, 登録料及び総額 (いずれも消費税 10% 込み)

① 受験料: 申請時に納入: 書類審査, 必須受講コース, PI, PW 及び最終試験

受講する NDI 資格コース数	2 コース	1 コース	受講なし
受験料 (円)	318,900	289,900	261,900

② 登録料: 合格後に納入: 登録及び証明書 (ディプロマ), 携帯用の証明書 (プラスチックカード) 発行料  
24,620 円

③ 総額

受講する NDI 資格コース数	2 コース	1 コース	受講なし
総額 (円)	343,520	314,520	286,520

## 9. 再受験\*

※やむ終えない事情により最終試験を受験しなかった場合、又は当該年度で特定のモジュール/パートが不合格の場合、15ヶ月以内の再受験が可能で、次年度の最終試験で当該のモジュール/パートを再受験する権利があります。詳細は、J-ANB 事務局へお問合せ下さい。

## 10. 提訴\*

※認証の決定に異議を申し立てる者は、決定通知の日より 60 日以内に、J-ANB 委員会に書類を付して提訴することが出来ます。詳細は、J-ANB 事務局へお問合せ下さい。

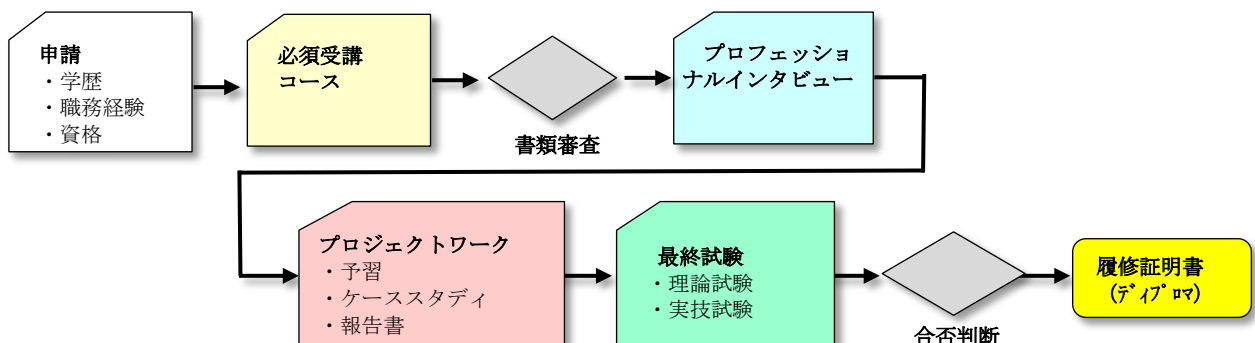


図 1 特認コースの流れ